

医学部附属病院 総合診療科

世界レベルの地域医療を目指してネットワークを構築



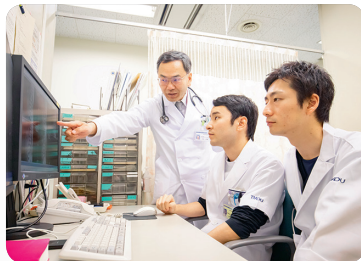
■ 竹村洋典教授(科長)
三重大学総合診療ネットワークを構築するなど総合診療のパイオニア。「世界レベルの地域医療を実現するため、本学に来了。開設から1年経ち、確かな手応えを感じています」

① 総合診療科の入院患者の疾患は多岐にわたる。



■ 毎朝の病棟でのカンファレンスでは、併診する歯科など他科の患者についても検討や教育がなされる。

■ 外来においても総合診療に関わる様々な研究や教育が行われている。



② 総合診療の裾野を広げるために教育にも力を注ぐ。総合診療医や行政に興味がある学部生、大学院生も増えているという。

総合診療科は、2018年7月に設立された。大学病院内では、専門に特化した従来の診療科とは異なり、ここは包括的で連携性があるゆえに症状の原因が分からなかったり、複数の症状や異常があったりする患者の受け入れ窓口となる。

医療機関に行くことができない“受診抑制”の人をすくい上げ、地域の人々の健康を守ることも総合診療科の重要な役割となる。制度上は誰でもいつでも受診できる日

本にあって、「移動手段がない」「忙しくて時間がない」「経済的余裕がない」といった理由で受診できていない人がいる。科長の竹村洋典教授は、総合診療科の目標を次のように語った。

「東京都では3人に1人の受診抑制があるといわれています。総合診療科は、地域や住民の要望に応えるニーズ主義医療を実践します。地域のあらゆる課題を解決すべく、まだ受診できていない人も診る気持ちで取り組んでいるので

す。専門の診療科、多職種との連携はもちろん、地域医療機関との連携が重要になります」

まずは、東京都の城東や市部北部など数カ所で世界レベルの地域医療モデルとなる東京医科歯科大学総合診療ネットワークを構築する計画だ。

「総合診療医は診断が難しい様々な科に関わる疾患も診ます。大学病院を受診するか迷うような患者さんこそ、私たちに相談してほしいと思います」

B